

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-238571

(P2001-238571A)

(43)公開日 平成13年9月4日(2001.9.4)

(51)Int.Cl'

A 01 K 85/00

識別記号

F I

A 01 K 85/00

マーク*(参考)

C 2 B 1 0 7

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-52929(P2000-52929)

(22)出願日 平成12年2月29日(2000.2.29)

(71)出願人 596069128

株式会社ケイテック

山梨県南都留郡河口湖町船津6784-1

(72)発明者 林 圭一

神奈川県川崎市中原区新城4丁目2番13号

(74)代理人 100080654

弁理士 土橋 博司

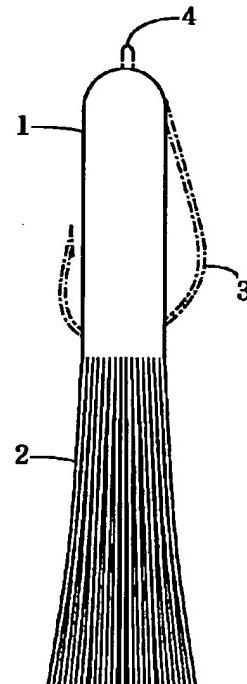
F ターム(参考) 2B107 BA35 BA70

(54)【発明の名称】高比重ソフトルアーおよびルアーの重り

(57)【要約】

【課題】比重を大きくして飛距離を飛躍的に向上させることができ、しかも魚の生息する水深まで無理なく、かつ十分に沈ませることができる高比重ソフトルアーおよびルアーの重りを提供することを目的とするものである。

【解決手段】ルアーボディが軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を軟質素材に含有させたことを特徴とする高比重ソフトルアー。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ルア一本体が軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を軟質素材に含有させたことを特徴とする高比重ソフトルアー。

【請求項2】 軟質素材からなるルア一本体が、芯材とカバーとで構成され、芯材が軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有して重りとして機能するようにした請求項1に記載の高比重ソフトルアー。

【請求項3】 軟質素材よりも比重の高い金属粉末が、タンクスチーン粉末である請求項1または2に記載の高比重ソフトルアー。

【請求項4】 重りが軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有させたことを特徴とするルアの重り。

【請求項5】 軟質素材よりも比重の高い金属粉末が、タンクスチーン粉末である請求項4に記載のルアの重り。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は比重を大きくして飛距離を飛躍的に向上させることができ、しかも魚の生息する水深まで十分に沈ませることができる高比重ソフトルアーおよびルアの重りに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の、プラスチック等を原材料とするルアは、硬質樹脂を用いたプラグ、金属製のスプーン、ワームと称する軟質樹脂やゴム等の軟質素材を用いたソフトルアー等に大別される。

【0003】中でもソフトルアーは、釣り針を直接刺し通して使用することができ、釣り針が目立たないことと、軟質素材を用いているため水中で微妙な動きすること等によって釣果を高め、一定の評価を得ている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のソフトルアーにおいては、軟質素材自体の比重があまり大きくできないため、その一部に重りをつけたり、ガラス繊維等の充填材を軟質素材に配合して比重を高めることにより、なんとか一定の水深を保てるよう配慮している。

【0005】ところが、ガラス繊維等は少量ではあまり比重を高めることができないため、かなりの分量を軟質素材に混合することになるが、逆にこのことが軟質素材の柔軟性、弾性、強度等の特性を損なうこととなる。またガラス繊維等の配合量を少なくすると十分な比重を得ることができず、上述のような釣果を得ることができないというジレンマがあった。

【0006】そこで、この発明は従来例の上記欠点を解消しようとするもので、比重を大きくして飛距離を飛躍的に向上させることができ、しかも魚の生息する水深まで無理なく、かつ十分に沈ませることができる高比重ソ

10

20

30

40

50

フトルアーおよびルアの重りを提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】すなわちこの発明の高比重ソフトルアーは、ルア一本体が軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を軟質素材に含有させたことを特徴とするものである。

【0008】この発明の高比重ソフトルアーは、上記軟質素材からなるルア一本体が、芯材とカバーとで構成され、芯材が軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有して重りとして機能するようにしたことを特徴とするものである。

【0009】この発明の高比重ソフトルアーは、上記軟質素材よりも比重の高い金属粉末が、タンクスチーン粉末であることを特徴とするものである。

【0010】この発明のルアの重りは、重り本体が軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有させたことを特徴とするものである。

【0011】この発明のルアの重りは、上記軟質素材よりも比重の高い金属粉末が、タンクスチーン粉末であることを特徴とするものである。

【0012】この発明の高比重ソフトルアーおよびルアの重りは、以上のように比重を大きくしたので、飛距離を飛躍的に向上させることができ、しかも魚の生息する水深まで無理なく、かつ十分に沈ませができる新規な高比重ソフトルアーおよびルアの重りを提供することができるようになった。

【0013】またこの発明の高比重ソフトルアーおよびルアの重りは、はさみやカッタ等で簡単に切断することができ、長さ方向に適宜切断してウエイトを調整することにより、所定の水深まで迅速に沈み込むことができる高比重ソフトルアーおよびルアの重りを提供することができ可能となった。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、この発明の高比重ソフトルアーおよびルアの重りの実施の形態を、図面に基づいて詳細に説明する。図1はこの発明の高比重ソフトルアーの1実施例を示す側面図、図2はその断面図、図3はこの発明の高比重ソフトルアーの他の実施例を示す側面図、図4はその断面図、図5はこの発明の高比重ソフトルアーのさらに別の実施例を示す側面図、図6はその断面図である。

【0015】図1および図2において、1は軟質素材、例えばポリ塩化ビニールやポリウレタン、アイオノマー（イオン架橋熱可塑性樹脂）、合成ゴム等の軟質素材からなるルア一本体である。このルア一本体1は所定の型に上記樹脂類を流し込んで成形したり、芯金上にコーティングして外形を形作ったり、成形型内で加熱加圧して成形したり、あるいはシート状のものの端部を融着したりすること等によって立体形状に形成されている。2は

細く複数本に切断されたスカート部（吹き流し）、3は釣り針、4は釣り糸連結用の環状部である。

【0016】このルア一本体1は上記軟質素材に、より比重の高い金属粉末を含有させて成形されている。もちろん、上記金属粉末は軟質素材とともにホッパー等で攪拌し、全体に均一に配合されるようにしておくことが望ましい。上記金属粉末としては、比重の高いものであれば種々の素材が使用可能であるが、タングステン粉末が望ましい素材である。

【0017】上記構成の高比重ソフトルアーは、金属粉末の配合量を変えることにより比重を変えて、飛距離や水深を調整することができる。上記金属粉末の配合量は、例えば高比重ソフトルアーの比重において約2以上となるようにすることが望ましい。もちろん、それ以上の比重であってもよく、期待する釣果に応じてその比重を適宜決定すればよい。したがって、上記軟質素材と金属粉末の配合量は、高比重ソフトルアーの比重を例えば2とし、それぞれの比重から配合割合を算出することによって算定することができる。

【0018】この高比重ソフトルアーの使用に際しては、ルア一本体1の適所に釣り針3を刺し通し、釣り糸連結用の環状部4が所定位置になるようにした上で、ほぼ高比重ソフトルアー内に釣り針3が保持されるように取り付ける。したがって従来にはないルア構造とすることができる、フィッシングに使用したときにはより大きな釣果を期待することができる。

【0019】図3および図4は、この発明の高比重ソフトルアーの他の実施例を示すものであり、ルア一本体1は軟質素材、例えばポリ塩化ビニール等で成形された、有底の円筒状をなすカバー12と、カバー12内に収納した円柱状の芯材13とで構成されている。この芯材13は軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有させて成形してある。そして、この芯材（つまりは高比重の金属粉末を練り込んだ軟質素材）13そのものの比重が、約2以上となるように構成されている。

【0020】この高比重ソフトルアーの使用に際しては、ルア一本体1のカバー12および芯材13を通して釣り針3を刺し通し、釣り糸連結用の環状部4が所定位置になるようにした上で、ほぼ高比重ソフトルアー内に釣り針3が保持されるように取り付ける。したがって従来にはないルア構造とできることができる、フィッシングに使用したときにはより大きな釣果を期待することができる。この例では芯材13をカバー12内に保持する手段がなくても、釣り針3が両者を確実に保持するので何ら問題なく使用することができる。

【0021】なお、この例では芯材13に高比重ソフトルアーとしての装飾性を付与しなくとも、カバー12に装飾性を持たせることにより商品価値を高め、また期待する釣果を得ることが可能である。

【0022】図5および図6は、この発明の高比重ソフトルアーのさらに別の実施例を示すもので、ルア一本体21は軟質素材、例えばポリ塩化ビニール等で成形された、有底の円筒状をなすカバー部22と、カバー部22内に一体的に成形した円柱状の芯材部23とで構成されている。この芯材部23は軟質素材からなり、かつ軟質素材よりも比重の高い金属粉末を含有させて成形してある。そして、この芯材（つまりは高比重の金属粉末を練り込んだ軟質素材）13そのものの比重が、約2以上となるように構成されている。

【0023】上記高比重ソフトルアーの成形に際しては、カバー部22および芯材23のいずれかを予め成形しておき、それを金型内にセットした上で成形材料を金型内に注入することにより、カバー部22および芯材23を一体的に成形することができる。もちろん、上記いわゆるインサート成形の手段のみならず、他の様々な成形方法によって成形されたものであってもよい。形状についても、この発明の高比重ソフトルアーは上述のチューブワーム以外の形のワーム類（ソフトルアー）に適用できることはいうまでもない。

【0024】この高比重ソフトルアーの使用に際しては、ルア一本体21のカバー部22および芯材部23を通して釣り針3を刺し通し、釣り糸連結用の環状部4が所定位置になるようにした上で、ほぼ高比重ソフトルアー内に釣り針3が保持されるように取り付ける。したがって上記実施例と同様に従来にはないルア構造とできることができる、フィッシングに使用したときにはより大きな釣果を期待することができる。この例では芯材をカバー内に収納する手間がなく、しかも釣り針3を刺し通しやすいというメリットがある。

【0025】なお、この例でも芯材部23に高比重ソフトルアーとしての装飾性を付与しなくとも、カバー部22に装飾性を持たせることにより商品価値を高め、また期待する釣果を得ることが可能である。

【0026】上記実施例においては芯材13および芯材部23をカバー12およびカバー部22内に配置したが、芯材13および芯材部23と同様の構造物を、種々のルアの重りとして使用してもよいことはもちろんである。

【0027】以上のようにして得た高比重ソフトルアーは、比重が従来のものに比べて大きく、別途重りをつけなくても十分な飛距離を得ることができ、しかも魚の生息する水深まで十分に沈ませることができる。

【0028】またこれをルアの重りとして使用する場合、重りにも釣り針を刺し通すことができ、従来に見られない仕掛けを作ることができる。また簡単に切断することができ、重さの調節等も容易である。

【0029】

【発明の効果】この発明の高比重ソフトルアーおよびルアの重りは以上のように、比重を大きくして飛距離を

5

飛躍的に向上させることができ、しかも魚の生息する水深まで無理なく、かつ十分に沈ませることができる高比重ソフトルアーおよびルアーの重りを提供することができるようになった。

【0030】またこの発明の高比重ソフトルアーおよびルアーの重りは、はさみやカッタ等で簡単に切断することができ、長さ方向に適宜切断してウエイトを調整することにより、所定の水深まで迅速に沈み込むことができる高比重ソフトルアーおよびルアーの重りを提供することが可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の高比重ソフトルアーの一実施例を示す側面図である。

【図2】その断面図である。

【図3】この発明の高比重ソフトルアーの他の実施例を示す側面図である。

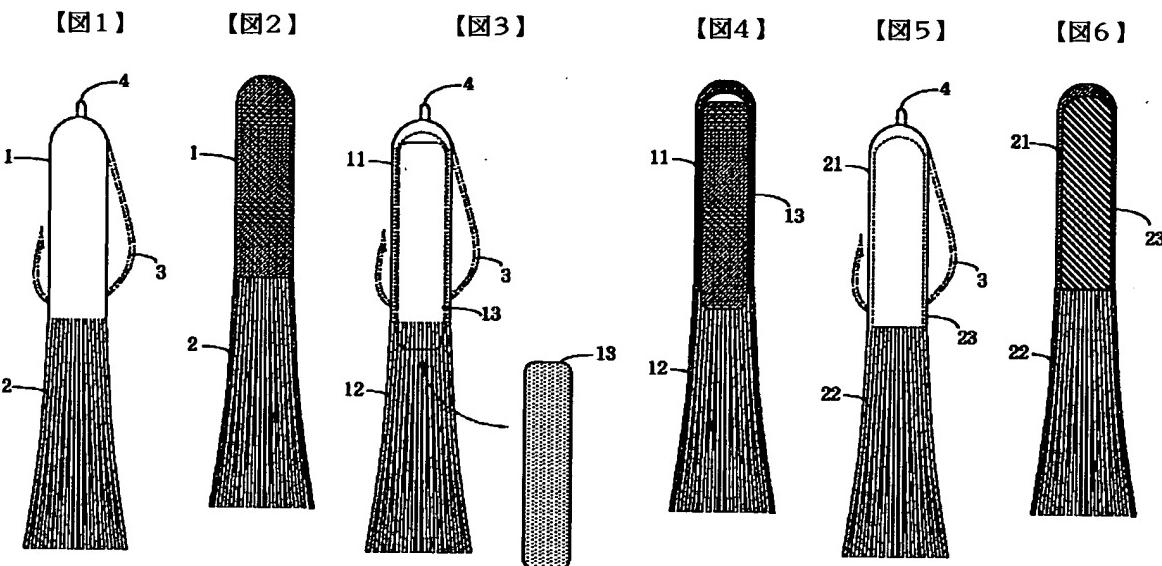
【図4】その断面図である。

【図5】この発明の高比重ソフトルアーのさらに別の実施例を示す側面図である。

【図6】その断面図である。

【符号の説明】

- | | |
|----|------------|
| 1 | ルアー本体 |
| 2 | スカート部 |
| 3 | 釣り針 |
| 4 | 釣り糸連結用の環状部 |
| 10 | 11 ルアー本体 |
| | 12 カバー |
| | 13 芯材 |
| 21 | ルアー本体 |
| 22 | カバー部 |
| 23 | 芯材部 |



PAT-NO: JP02001238571A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001238571 A
TITLE: HIGH-SPECIFIC GRAVITY SOFT LURE AND SINKER FOR
LURE
PUBN-DATE: September 4, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

| | |
|------------------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| HAYASHI, KEIICHI | N/A |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| | |
|----------|---------|
| NAME | COUNTRY |
| K TEC:KK | N/A |

APPL-NO: JP2000052929

APPL-DATE: February 29, 2000

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a high-specific gravity soft lure and a sinker for the lure capable of increasing the specific gravity, remarkably improving the flying distance and sufficiently sinkable to the water depth where fishes live without any overstrain.

SOLUTION: This high-specific gravity lure is characterized in that the lure body comprises a flexible material and a metal powder having a higher specific gravity than that of the flexible material is contained in the flexible material.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO